

2021年度 法人事業報告

社会福祉法人 露の会 法人本部

1. 法人設立 20 周年記念誌を発行しました。

数年前から各施設で準備するようお願いしておりましたが、どうしても日々の仕事が優先となり、結局秦施設長を中心に本部及び理事、各施設長でまとめることになりました。

不十分とはいえ、ふきのとう開設から法人の歴史を振り返る資料として中堅や若い職員の学習資料としても役立つと思います。

外部の方々をはじめ、理事、評議員、職員、御家族、利用者の皆さんの寄稿に改めて感謝申し上げます。

2. 公益事業の組織運営の確立

①東京都のソーシャルファームの認定制度は応募致しましたが、当初説明でなかった“1年契約の繰り返しではダメ”との条件で残念ながら認定されませんでした。

②独立した事業所として管理者を置きましたが、まだ十分な理解が得られず、人員減の補充も出来ず、厳しい運営になりましたので、新年度に向けた諸課題の改善の準備を進めてきました。

3. コロナ感染症対策

新たな感染力の強いオミクロン株の第6波で各施設とも若い人の感染が1人、2人と判明しましたが、それぞれの施設のすばやい検査、お休み対策などで、クラスターに拡大させることなく運営を継続しています。

4. 各施設の指導

毎月施設長会、事業検討会の他、個別にも各施設長と密接に連携し合い、それぞれの課題に対処してきました。

5. 職員の労働条件の改善

平均2%以上の賃金引上げと特定処遇改善加算による期末手当の増額で一定の改善を計りました。

6. 地域社会の関わり

①コロナ感染予防のため残念ながら子供食堂は休業状態が続きました。

②豪雨災害被災者への寄附を実施し、161,496円を集め、中央共同募金会と東京都共同募金会を通じて送ることが出来ました。

③隣地の武田様より空家になった家屋敷を使うならとのありがたいお話しを受け、何回も話し合いを重ねて、4月よりお借りすることになりました。